商店街活性化事業計画の概要

地　域	神奈川県川崎市	認定日	平成２２年２月５日

事業名：川崎大師表参道商業協同組合と地域住民のためのコミュニティ活性化事業

事業者名：　川崎大師表参道商業協同組合（神奈川県川崎市）
事業実施期間　平成２２年４月～平成２５年３月

■商店街活性化事業の概要

・地域住民からの賑わい創出のニーズに基づき、空き店舗を活用したテーマ型の飲食店創出と、大道芸や大衆娯楽を柱にした寺町ならではの通年型イベント を開催し、来街者数の増加を図るとともに、地域住民の利便性向上のために各店舗の品揃え充実や販売の促進を図っていく。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ
・地域住民からは、高齢化社会へ対応する商店街の在り方、賑わいを創出して地域住民と商店街を共生させるイベント、観光目的の来街者のニーズに応えるためのエンターテイメントソフト（体験型・参加型のマジックや大道芸など）の創造、飲食・物販の店舗の充実が求められている。

◆実施計画の主な内容
・空き店舗を活用し、飲食サービスとマジックのライブを通した体験・参加型の店舗を創出し、地域コミュニティの核となるユニークなエンターテイメント空間づくりを目指す。
・川崎大師庶民文化のアイデンティティを背景に、大衆娯楽として人気のある大道芸を柱とした通年型イベント(路上パフォーマンス)を商店街で展開し、大道芸のファン層を中心にリピーターの獲得を図る。また、コスプレなど話題性のあるイベントを企画・開催し、大師地区商店街の新たなイメージを発信していく。
・商店街の活性化に取り組む専門家や有識者を講師として招き、商店街の組合員を対象に販売促進や接客等のセミナーを開催して、営業手法に関する必要なノウハウを取得してもらう。

■商店街活性化事業計画の目標

・商店街への来街者数を１０％向上させるとともに、商店街の空き店舗数を３店舗減少させる。
来街者数：休日5,917人（H20年）→6,508人（H25年）、平日3,351人（H20年）　→3,686人（H25年）
空き店舗数：７店舗（H21年）→４店舗（H25年）

【商店街の様子】

【川崎大師の山門と猿回し】

【大道芸イベントの様子】